

令和七年学力検査

全日制課程 追検査

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐこの表紙に受検番号を書きなさい。続いて、解答用紙に氏名と受検番号を書き、受検番号についてはマーク欄も塗りつぶしなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙のマーク欄を塗りつぶしなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、解答することをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

|      |   |   |
|------|---|---|
| 受検番号 | 第 | 番 |
|------|---|---|

国語

一次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

2

3

著作権保護のため  
非公開

4

5

著作権保護のため  
非公開

7

6

## 著作権保護のため 非公開

〔岩内章太郎〕『私を取り戻す哲学』による

(注)

- ①⑦は段落符号である。
- 俯瞰<sup>みから</sup>全体を上から見ること。
- サイバースペース<sup>サイバースペース</sup>ネットワーク上に築かれる仮想空間。
- メタバース<sup>メタバース</sup>コンピュータグラフィックなどで表現された、疑似体験することができる仮想空間。
- アバター<sup>アバター</sup>仮想空間において自分の分身となるキャラクター。
- VR<sup>VR</sup>コンピュータが創り出した仮想空間を、現実であるかのように疑似体験できる仕組み。バーチャルリアリティ。
- メタモルフォーゼ<sup>メタモルフォーゼ</sup>変形、変身。
- 形象<sup>しやうざう</sup>形や姿。
- ツール<sup>ツール</sup>道具。
- 実存<sup>じつぞん</sup>ここでは、実際に生きている人間のこと。

(一)

「A」にあてはまる最も適切なことばを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 自己                      イ 人間                      ウ 存在                      エ 他者

(二) ①

自己デザインには限度があるだろうとあるが、筆者がこのように考える理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 自己の利害だけを考えて言葉や態度を変えていると自己を演出する力が低下するから。

イ 自己の演出に凝りすぎると自然なバランスを欠いて疑念や不信を買うことがあるから。

ウ 自己をうまく演出することができないと周囲から承認を得ることができなくなるから。

エ 自己イメージにばかりこだわって他者の意見を聞かないと信頼を失うことになるから。



(三)②

《私》の新しい存在可能を開いている。とあるが、このことばによつて筆者が言いたいこととして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア VR空間でクモや鉛筆に変身して生きることができるようになったことは、自己デザイン志向の行き過ぎである。

イ VRの発展によつて「メタモルフォーゼの快楽」が味わえるようになったことは、想像力の拡大につながる。

ウ 現実世界とは異なる身体に変身してその欲望を生きることが、自己の変容という点で有意義な体験となる。

エ メタバースで自己のアバターを好きなように作り込めることは、現実の自己を見失うことにつながりかねない。

(四)

第五段落が本文中で果たしている役割についての説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 第四段落までの筆者の意見とは反対の考え方を示し、それに対する反論を述べることで、自己デザインの可能性について述べた第六段落以降につなげている。

イ 第四段落までとは視点を変えて、新たな視点を提示することにより、デザインしきれない《私》の有限性について述べた第六段落以降につなげている。

ウ 第四段落の説明に続けて、自己デザイン志向とメタバースとの関係を補足することにより、VRの危険性について述べた第六段落以降につなげている。

エ 第四段落で示した具体例を踏まえ、《私》を自由にデザインすることの大切さを強調することで、生き方の無限性について述べた第六段落以降につなげている。

(五)③

こうした関係の説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 自己デザインの自由度が高い空間において、自己デザインされた《私》同士が承認や了解を交わす関係

イ 自己デザインの無限性が否定される空間において、他者と《私》との間で取り結ばれる親密な関係

ウ 現実世界とサイバースペースのそれぞれの中に存在する、新しい自分と古い自分との関係

エ 現実世界とサイバースペースとの間で取り結ばれる、本当の《私》とデザインされた《私》との関係

(六)

次のアからエは、この文章を読んだ生徒五人が、意見を述べ合ったものである。その内容が本文に書かれた筆者の考えとは異なる考えを含むものを二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

ア (Aさん) クラスメートのSNS上の発言が、学校で会っているときの印象と違うことがあります。それは、相手との関係によつて自分を演じることのある現実世界と違って、サイバースペースではその人本来の性格が現れやすいからなのです。

イ (Bさん) 筆者が述べているように、SNSやメタバースなどのサイバースペースには、自分を思いどおりにデザインして演出することのできる自由がありますが、現実世界の自分には、思いどおりにならない部分があることを、これまで感じていました。



ウ (Cさん)

相手によって自分の見せ方を変えるのは、大人に近づいてさまざまな人間関係をもつようになれば、当然のことでしょう。でも、他人からよく見られたいという気持ちや損得勘定によって、無意識に自分を演出してしまうことがないよう気をつけたいです。

エ (Dさん)

自己デザインは新しい自分になるためのツールで、そのデザインの可能性は無限だという筆者の考えには共感しました。でも、自分の弱さやもろさなどが、私の存在の確かさにつながるという考え方は、深すぎて理解することが難しいです。

オ (Eさん)

私たちには、弱さやもろさなどの、自分ではデザインできない部分があります。そのような自分の有限性から目をそらさないことが大切であり、自分ではデザインできない部分があるからこそ、自分らしさが保たれるということなのでしょう。

二 次の一)から三)までの問いに答えなさい。

(一) 次の文中の傍線部①、②に用いる漢字として正しいものを、それぞれあとのアからエまでのの中から一つ選びなさい。

山頂の日の出は実に①ソウ②カンだ。

① ア 相 イ 送 ウ 壮 エ 創  
② ア 観 イ 刊 ウ 関 エ 還

(二) 次の文中の傍線部と同じ意味で用いられている漢字を、あとのアからエまでのの中から一つ選びなさい。

この池では、地下水が絶えることなく湧き出ている。

ア 絶景 イ 絶海 ウ 断絶 エ 超絶

(三) 次の文中の「A」にあてはまる最も適切なことばを、あとのアからエまでのの中から選びなさい。

意味「A」な発言をする。

ア 躍進 イ 気鋭 ウ 揚々 エ 深長

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

1

2

3

著作権保護のため  
非公開

4

5

著作権保護のため  
非公開

6

## 著作権保護のため 非公開

7

## 著作権保護のため 非公開

(西野嘉章『真贋のはざま——オリジナルとコピー』による)

(注)

- 1 7 は段落符号である。
- 真贋 本物とにせ物。
- いやしくも かりにも。
- 铸造品 金属を熱で溶かし、鑄型に流し込んで作った器物。
- 鶏卵紙、ガラス乾板 いずれも、明治期に写真の印刷に使われた道具。
- 定位 位置を定めること。
- 枚挙にいとまがない 数えきれないほど多い。
- ヴィンテージ・プリント 撮影者が撮影直後に自ら作成した写真。
- オリジナル・プリント 作者が署名した、作品としての写真や版画。
- エディシオン・ナンバー 作品としての写真や版画に振る番号。限定部数を分母、通し番号を分子として、余白に分数の形で記入される。
- 共時的 ある時点に注目して物事を捉えようとするさま。
- 峻別 きびしく区別すること。
- 範疇 同じ種類のものが全て含まれる領域。
- 格率 論理の原則を簡潔に言い表したことは。



(一) 「A」、 「B」 にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

- ア 「A」 要するに 「B」 しかし  
イ 「A」 逆に 「B」 しかし  
ウ 「A」 要するに 「B」 たとえば  
エ 「A」 逆に 「B」 たとえば

(二) ① ことさら独創性を極めようとする傾きなどなかった とあるが、その理由として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

- ア 美術品の存在価値を認めようとしないう不定多数の公衆は、独創性の高さに関心を払わなかったから。  
イ 美術品の生産者たちは、他の生産者が造ったモノとは違うことに価値を見いだして競い合っていたから。  
ウ 美術品に特別な価値を見いだすようになった人類は、オリジナルな創造を重視するようになったから。  
エ 美術品の注文主であった一部の特権階級は、自分の趣味に合うモノを造るよう生産者に求めていたから。

(三) 次の文章は、ある生徒が第六段落と第七段落の内容をまとめたものである。この生徒の文章に対する評価として適当でないものを、あとのアからオまでのの中から一つ選びなさい。

「オリジナル」と「コピー」の峻別は、共時的な視点に立つて論じる場合には可能かもしれないが、時を経ると両者の境目は不明瞭になり、「コピー」も歴史的な価値を持ち始める。さらに、「オリジナル」も、それに先行する時代の遺産の上に成り立っており、ほんとうに独創的なものであったかは容易に断じがたい。無から有は生じないという格率が正しいなら、すべての創造は「コピー」の所産である、と断言してよいのかもしれない。

- ア 筆者が対比的に示している視点や概念をとらえている。  
イ 接続する語句や表現によつて文章の流れを整えている。  
ウ 筆者の主張に対して想定される反論を踏まえている。  
エ 具体例などを省略することで要点を浮き彫りにしている。  
オ 結論を最後に置いて筆者の意見を明確にしている。

(四)

次のアからオまでのの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

- ア 巨匠たちの作品のうち、先行する時代の作品の模写や臨写によって生み出されたものは、高い価値を付与することができない。
- イ 独創性に特別な価値を認める芸術観は、近代になってからのものであり、模造や模写等が持つ価値への認識に欠けている。
- ウ 版画や写真や鑄造品はもともと複製物であるため、美術品としての価値を維持するには、高い値段を付ける必要がある。
- エ 「コピー」と「オリジナル」の区別は曖昧で、相互に対立するものではなく、多くの芸術品は両極の「はざま」に位置している。
- オ 新しい様式が誕生するきっかけは、弟子が親方の作品を完全に模倣せず、意図的に「オリジナル」な改変を加えることにある。

(五)

この文章の論の進め方の特徴として適当なものを、次のアからイまでのの中から二つ選びなさい。ただし、マーク欄は一行につき一つだけ塗りつぶすこと。

- ア 身の回りにある話題から始め、徐々に抽象的な事柄に広げていくことで、自分の意見が自然に受け入れられるようにしている。
  - イ 自分の意見とは対立する考えを示し、その問題点を具体的な根拠とともに示すことで、自分の意見が正しいことを強調している。
  - ウ 中心となる問題を提起して自分の意見を示した後、根拠となるさまざまな具体例を挙げながら、繰り返し自分の意見を述べている。
  - エ 提起した問題について対立する二つの意見を紹介し、それぞれの課題を指摘した後、いずれとも異なる自分の意見を述べている。
  - オ 問いを立ててそれに対する答えを述べ、さらに問いを立てて答えることを繰り返しながら、さりげなく自分の意見を主張している。
- 力 常識的な見方や考え方に疑問を投げかけた上で、常識をくつがえす根拠を示し、問いかけを多用しつつ自分の意見を述べている。

四 次の漢文（書き下し文）を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

## 著作権保護のため 非公開

（『論衡』による）

（注）  
○ 公叔文子 春秋時代の衛の国の重臣。  
○ 公明賈 春秋時代の衛の国の人。

(一) 問ひて曰はく とあるが、孔子がこのような行動をとった理由として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 公叔文子を批判するための材料を手に入れたかったから。

イ 公叔文子の温かい人柄を公明賈に伝えたかったから。

ウ 公叔文子に対する世間の評価の真偽を確かめたかったから。

エ 公叔文子の不適切なふるまいを公明賈に知らせたかったから。

(二) 其の言ふ とあるが、これは誰のことばを指しているか。最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 孔子      イ 公叔文子      ウ 公明賈      エ 告ぐる者

(三) 豈に其れ然るか、豈に其れ然るか。 ということばから、孔子が公叔文子をどのような人物と考えていたことが読み取れるか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選びなさい。

ア 筋の通った言動により、人々に受け入れられている人物

イ 周囲が不愉快にならないよう、常に気を配ることができる人物

ウ 道理に反することを嫌い、計画どおり物事を進めようとする人物

エ 他者の気持ちを理解して、適切にふるまうことができる人物

(四) 次のアからエまでのの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選びなさい。

ア 公叔文子は、政治家としての資質が備わった頼もしい人物である。

イ 特に優れた人物ではないが、公叔文子は庶民の人気を集めている。

ウ 公叔文子のような優れた人物は、自然に評判が伝わるものである。

エ 世間で言われている公叔文子の人物像には、誇張が含まれている。

（問題はこれで終わりです。）



第1時限 国語正答

| 問題番号 |       | 配点     |    | 正 答 | 配点上の注意事項                                  |
|------|-------|--------|----|-----|-------------------------------------------|
| 大問   | 小 問   | 大問     | 小問 |     |                                           |
| 一    | (一)   | 7<br>点 | 1  | エ   | どちらか一方ができて1点。<br>二つともできて2点。               |
|      | (二)   |        | 1  | イ   |                                           |
|      | (三)   |        | 1  | ウ   |                                           |
|      | (四)   |        | 1  | イ   |                                           |
|      | (五)   |        | 1  | ア   |                                           |
|      | (六)   |        | 2  | ア、ウ |                                           |
| 二    | (一) ① | 3<br>点 | 1  | ウ   | 二つともできて1点。                                |
|      | (一) ② |        |    | ア   |                                           |
|      | (二)   |        | 1  | ウ   |                                           |
|      | (三)   |        | 1  | エ   |                                           |
| 三    | (一)   | 8<br>点 | 1  | ア   | 二つともできて2点。<br>どちらか一方ができて1点。<br>二つともできて2点。 |
|      | (二)   |        | 1  | エ   |                                           |
|      | (三)   |        | 2  | ウ   |                                           |
|      | (四)   |        | 2  | イ、エ |                                           |
|      | (五)   |        | 2  | ウ、カ |                                           |
| 四    | (一)   | 4<br>点 | 1  | ウ   |                                           |
|      | (二)   |        | 1  | イ   |                                           |
|      | (三)   |        | 1  | ア   |                                           |
|      | (四)   |        | 1  | エ   |                                           |
| 合 計  |       | 22点    |    |     |                                           |

国 語

【解答上の注意】

- 1 HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可)を使用すること。
- 2 マーク欄は、下の例を参考にして塗りつぶすこと。
- 3 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
- 4 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしないこと。

| 良い例                                                                               | 悪い例                                                                                   |                                                                                       |                                                                                     |                                                                                       |                                                                                        |                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  小さい |  上だけ |  線 |  丸囲み |  バツ |  うすい |

|   |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一 | (一) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|   | (二) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|   | (三) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|   | (四) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|   | (五) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|   | (六) |     <br>     |

|   |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 三 | (一) |                                                                                              |
|   | (二) |                                                                                              |
|   | (三) |           |
|   | (四) |           |
|   |     |      |

|   |     |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---|-----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二 | (一) | ① |     |
|   |     | ② |     |
|   | (二) |   |     |
|   | (三) |   |     |

|   |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 四 | (一) |     |
|   | (二) |     |
|   | (三) |     |
|   | (四) |     |

|         |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| 氏 名     |   |   |   |   |
| 受 検 番 号 |   |   |   |   |
|         |   |   |   |   |
| 0       | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1       | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 2       | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 3       | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 4       | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 5       | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 6       | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 7       | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 8       | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 9       | 9 | 9 | 9 | 9 |